

保護者及び子どもに対するアンケート調査結果の比較

1. アンケート調査結果の比較について

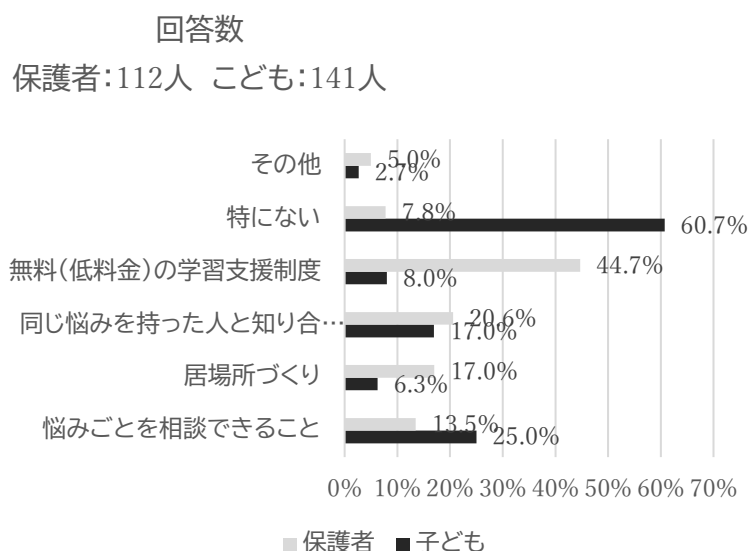
保護者に対するアンケート結果と子ども本人に対するアンケート結果を次のとおり比較したものです。

対象アンケート		比較方法
子ども・子育てに関するアンケート調査 (未就学児及び就学児の保護者対象)	⇒	「保護者」回答として集計
子どもの生活に関するアンケート調査 (小学5年生及び中学2年生対象)	⇒	「子ども」回答として集計

2. アンケート調査結果比較

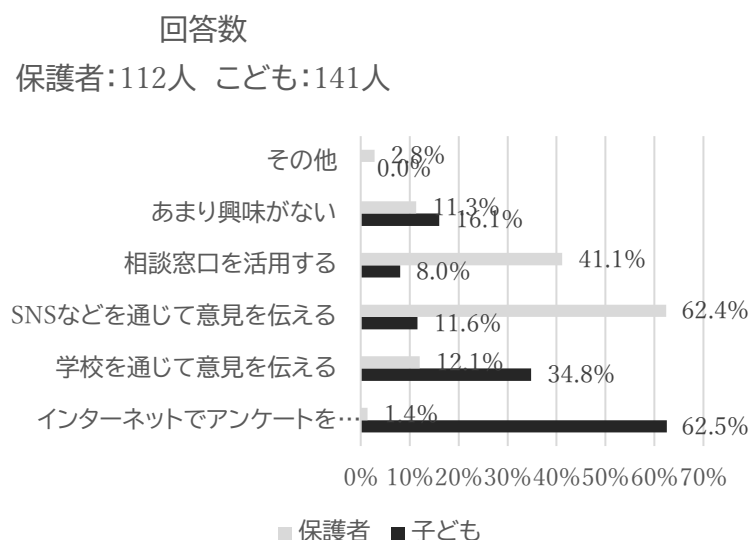
○あなたが現在助けてほしいことはどのようなことですか。

必要としている支援に関する項目では、子どもの「特にない」の割合が60.7%と最も高く、次いで「悩みごとを相談できること」の割合が25%と高い結果となりました。一方で保護者の「無料(低料金)の学習支援制度」の割合は44.7%と最も高く、次いで「同じ悩みを持った人と知り合える支援」の割合が20.6%と高い結果となりました。



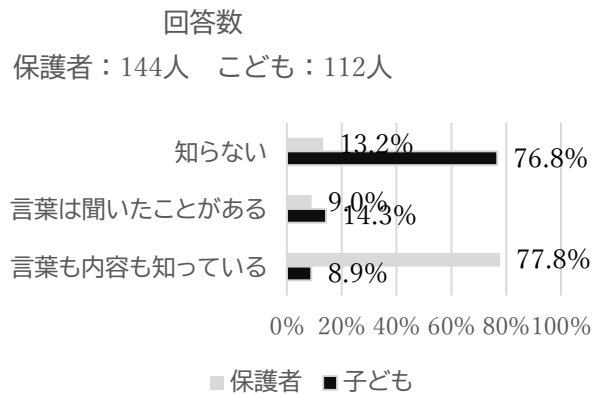
○子どもの意見を山北町に伝えるために、伝えやすいと思うことは次のどれですか。

町への意見の伝達に関する項目では、子どもの「インターネットでアンケートを行う」の割合が62.5%と最も高く、次いで「学校を通じて意見を伝える」の割合が34.8%と高い結果となりました。保護者の「SNSなどを通じて意見を伝える」の割合は62.4%と最も高く、次いで「相談窓口を活用する」の割合が41.1%と高い結果となりました。



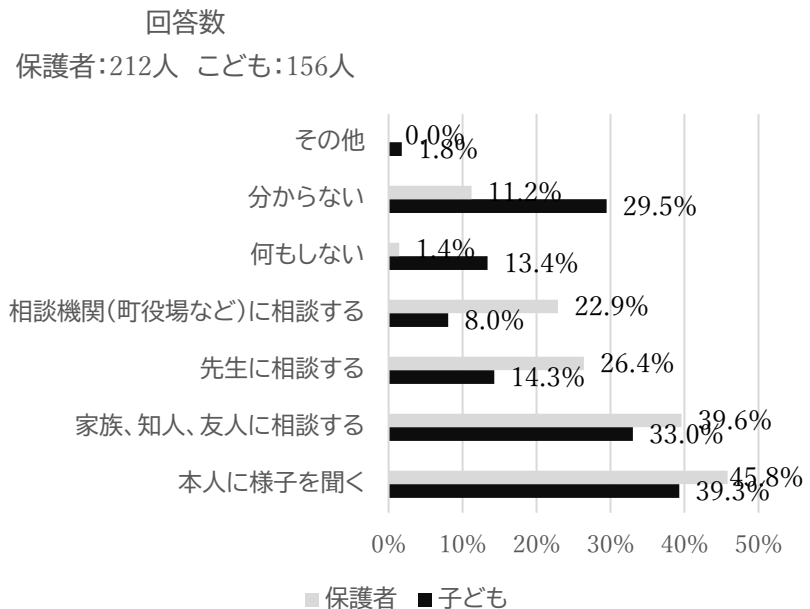
○ヤングケアラーという言葉を知っていますか。

ヤングケアラーに対しての認知度に関する項目では、子どもの「知らない」の割合が76.8%と最も高く、「言葉も内容も知っている」の割合が8.9%と最も低い結果となりました。一方で保護者の「知らない」の割合は13.2%に留まり、「言葉も内容も知っている」の割合は77.8%と高い結果となりました。



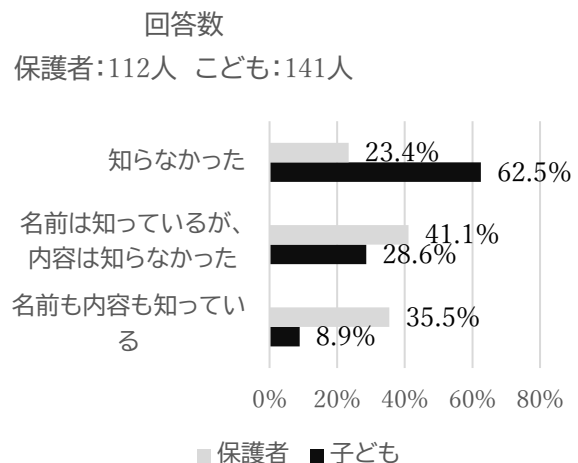
○あなたの周りにヤングケアラーと思われる人がいた場合、どうしますか。

周りにヤングケアラーと思われる人がいた場合の対応の項目では、子どもの「本人に様子を聞く」の割合が39.3%と最も高く、次いで「家族、知人、友人に相談する」の割合が33%と高い結果となりました。保護者では、子どもと同様、「本人に様子を聞く」の割合が45.8%と最も高く、次いで「家族、知人、友人に相談する」の割合が39.6%と高い割合となりました。



○あなたは「子どもの権利」について知っていましたか。

子どもの権利に関する認知度に関する項目では、子どもの「知らなかった」の割合が62.5%と最も高く、「名前も内容も知っている」の割合が8.9%と最も低い結果となりました。保護者では、「名前は知っていたが内容は知らなかった」の割合が41.1%と最も高く、「名前も内容も知っている」の割合35.5%と合わせると7割以上の方が認知しているという結果になりました。



○子どもの権利の中で特に大切だと思うことはどれですか。

子どもの権利の中で大切だと思うものの項目では、子どもの「見た目で差別されないこと」の割合が 81.3%と最も高く、次いで「障がいによって差別されないこと」の割合が 75%と高い割合となりました。保護者では、「暴力や言葉で傷つけないこと」の割合が 85.1%と最も高く、次いで「自分の考えを自由に言えること」の割合が 70.9%と高い割合となりました。

回答数
保護者:112人 こども:141人

